

【 開催概要 】

京都議定書発効20周年特別開催イベント

すぐそこにある温暖化の危機 ~あなたの選択が未来を変える~

2/14(水)、15(木) 12:00~20:00

特別展示 ~見える環境技術、見えるCO₂~ (詳細は資料)

家庭から出るCO₂は、2005年度には、1990年度比で37%も増加しました。
特別展示では、地球温暖化の推移や家電製品を中心とした環境技術の進歩を、パネルや展示品により解説します。また、過去と現在の各製品のCO₂排出量の差を、巨大なバルーンを用いて視覚的に表現します。

2/14(水) 16:30~19:00

特別セミナー ~温暖化の危機と向き合うとき~ (詳細は資料)

I P C C (Intergovernmental Panel on Climate Change : 気候変動に関する政府間パネル)
第4次評価報告書第1作業部会報告書(自然科学的根拠)の内容や、第2作業部会報告書(影響・適応・脆弱性)への展望を、執筆担当の研究者が解説するほか、スターンレビューに見る気候変動の影響等の情報を提供します。また、地球温暖化防止における報道等の役割を議論します。

2/15(木) 18:00~19:30

記念トークセッション ~あなたの選択が未来を変える~ (詳細は資料)

自身が担当する番組等で温暖化について問題提起されている別所哲也氏(俳優 / ショートショート フィルムフェスティバル代表)、『気候変動+2 』で温暖化の危機を分かりやすく解説する山本良一氏(東京大学生産技術研究所 教授)らが出演し、京都議定書の約束達成のために、私たちがとるべき行動、エコ製品の役割などを話し合います。

特別展示 「見える環境技術 見えるCO₂」

家庭から出るCO₂は、2005年度には、1990年度比で37%も増加しました。

特別展示では、地球温暖化の推移や家電製品を中心とした環境技術の進歩を、パネルや展示品により解説します。また、過去と現在の各製品のCO₂排出量の差を、巨大なバルーンを用いて視覚的に表現します。

<開催日時> 2月14日(水)、15日(木) 12:00~20:00

<対象> 一般公開

<参加要件> 事前登録不要・無料(自由に観覧いただけます。)

<展示構成>

CO₂排出量の可視化

1990年製の製品を1カ月使い続けた場合のCO₂排出量と、2007年製の製品を1カ月使い続けた場合のCO₂排出量を、透明の円柱型バルーンやグラフィックで表現。

CO₂排出量削減を実現した環境技術の解説

各製品部品や解説パネルを掲出し、環境技術を解説。

地球温暖化の進行と私たちの生活

18世紀以降の地球温暖化の状況、生活様式の変化等を分かりやすく解説。

特別セミナー 「温暖化の危機と向き合うとき」

I P C C (Intergovernmental Panel on Climate Change : 気候変動に関する政府間パネル) 第4次評価報告書第1作業部会報告書(自然科学的根拠)の内容や、第2作業部会報告書(影響・適応・脆弱性)への展望を、執筆担当の研究者が解説するほか、スターンレビューに見る気候変動の影響等の情報を提供します。また、地球温暖化防止における報道等の役割を議論します。

<開催日時> 2月14日(水) 16:30~19:00(受付開始は 15:50)

<対 象> 報道関係者、企業の広報・環境担当者など

<参加要件> 事前登録制・無料(座席のみ。立ち見の場合は自由に観覧いただけます。)

<申込方法> メール又はFAXにて、以下の宛先にお申込みください。

E-mail : info@team-6.net

タイトルを「京都議定書発効2周年特別開催イベント参加申込」とし、氏名(お勤め先・部署名)、連絡先(電話番号・FAX番号・E-mail)を記載願います。

F A X : 別紙 「参加申込書」にてお申込みください。

取材の方は、別紙 「取材申込書」にてお申込みください。

<参加人数> 先着120名

<司 会> 村田佳壽子氏(日本環境ジャーナリストの会 理事・フリーアナウンサー、ワールドウォッチ研究所日本副代表)

<プログラム>

16:30 第一部「一人ひとりに伝えるために」

環境省地球環境局国民生活対策室プロジェクトリーダー 吉野議章

- ・『チーム・マイナス6%が目指すもの』(15)
- ・Q&A(5)

日本環境ジャーナリストの会 竹内敬二氏(朝日新聞社編集委員)

- ・『温暖化問題の難しさとジャーナリズムの役割』(30)
- ・Q&A(10)

17:30 (休憩:10分間)

17:40 第二部「温暖化研究の最前線」

(独)海洋研究開発機構 地球環境フロンティア研究センター
特任研究員 近藤洋輝氏

- ・『IPCC第4次評価報告書の第1作業部会報告』(30)
- ・Q&A(10)

(独)国立環境研究所 社会環境システム研究領域 領域長 原沢英夫氏

- ・『温暖化の影響に関する昨今の新しい知見(スターンレビューを含む)』(30)
- ・Q&A(10)

(19:00 閉会)

記念トークセッション 「あなたの選択が未来を変える」

自身が担当する番組等で温暖化について問題提起されている別所哲也氏(俳優/ショートショート フィルムフェスティバル代表)、『気候変動+2』で温暖化の危機を分かりやすく解説する山本良一氏(東京大学生産技術研究所 教授)らが出演し、京都議定書の約束達成のために、私たちがとるべき行動、エコ製品の役割などを話し合います。冒頭、若林環境大臣が会場に駆けつける予定です。

<開催日時> 2月15日(木) 18:00~19:30 (受付開始は17:30)

<対象> 一般公開

<参加要件> 事前登録制・無料(座席のみ。立ち見の場合は自由に観覧いただけます。)

<申込方法> メール又はFAXにて、以下の宛先にお申込みください。

E-mail : info@team-6.net

タイトルを「京都議定書発効2周年特別開催イベント参加申込」とし、氏名(お勤め先・部署名)、連絡先(電話番号・FAX番号・E-mail)を記載願います。

FAX : 別紙 「参加申込書」にてお申込みください。

取材の方は、別紙 「取材申込書」にてお申込みください。

<参加人数> 先着120名

<出演者>

別所哲也氏 (俳優/ショートショート フィルムフェスティバル代表)[進行]

山本良一氏 (東京大学生産技術研究所 教授)

その他、調整中

<プログラム> (予定)

18:00~ 若林環境大臣より挨拶
トークセッション

19:10~ Q&A

19:20~ フォトセッション

19:30 閉会

記念トークセッション：出演者プロフィール

【 進 行 】

別所哲也(べっしょ てつや) 俳優/ショートショート フィルムフェスティバル代表 [チーム員 NO. 525]



<趣味>ドライブ・トレッキング・アメフト観戦

<主な出演代表作品> 映画：「クライシス2050」(1990)、「パラサイト・イヴ」(1996)
ドラマ：「デッサン」(NTV)、「魔女の条件」(TBS)、「逃亡者」(TBS)、「風のハルカ」(NHK)
舞台：「レ・ミゼラブル」(2003～)、「ミス・サイゴン」(2004)、「34丁目の奇跡」(2004)、「ナイン ザ・ミュージカル」(2005)、「ウーマン・イン・ホワイト」(2007)
ラジオ：「J-WAVE GOOD MORNING TOKYO」(J-WAVE)、「東京コンシェルジュ」(J-WAVE)、「The Dream Magic」(FM大阪)

1990年、ハリウッド映画「クライシス2050」でスクリーンデビュー。米国映画俳優組合(SAG)会員となる。帰国後、数多くの映画・ドラマ・舞台等に出演。俳優以外にも、オリンピック番組でのメインキャスターや、米国アカデミー賞授賞式のリポーターなどを務めた。また、1999年より、日本発の短篇映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル」を主宰。2004年には、米国アカデミー賞公認映画祭に認定された。

公式サイト：www.T-voice.com

山本良一(やまもと りょういち) 東京大学生産技術研究所 教授 [チーム員 NO. 51]



74～76年マックス・プランク金属研究所客員研究員。

78～80年ブリティッシュコロンビア大学中間子研究施設μSR国際共同研究。

81年東京大学工学部金属材料学科助教授。88年東京大学先端科学技術研究センター教授。

92年東京大学生産技術研究所教授。専門は材料科学、持続可能製品開発論、エコデザイン。

文部科学省科学官、日本LCA学会会長、環境効率フォーラム会長、国際グリーン購入ネットワーク会長、「エコプロダクツ」展示会実行委員長、北京大学、精華大学など中国の32大学の客員教授を歴任している。

(その他 調整中)